

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

宇宙科学研究所がこれまで打ち上げてきたイプシロンロケットは2022年10月に打ち上げた6号機が2段目燃焼終了後に姿勢異常が見られたため、地球周回軌道に投入できないと判断し、ロケットに指令破壊信号が送出され、残念ながら初の打ち上げ失敗となりました。



▲HIIIロケットイメージCG ©JAXA

今後の衛星・探査機の打上予定は2022年度にHIIIロケットの試験飛翔、2023年度に小型月着陸実証機SLIM、X線分光撮像衛星XRISMおよび木星氷衛星探査計画JUICEの3つの衛星・探査機の打上の予定となっています。

小型月着陸実証機SLIMは将来の月惑星探査に必要なピンポイント着陸技術を研究し、それを小型探査機で月面

にて実証する計画で、X線分光撮像衛星XRISMはNASAやESAの協力のもと2018年に開始され、星や銀河、そしてその間を吹き渡る高温ガス「プラズマ」に含まれる元素やその速さを測ることで、星や銀河、銀河の集団がつくる大規模構造の成り立ちをこれまでにない詳しきで明らかにします。

さらに、木星氷衛星探査計画JUICEは太陽系最大の惑星で、太陽系がどのようにしてできたかを理解するための鍵を握っています。木星がどこでどのようにしてできたかの記録を残すガリレオ衛星を調べることで、私たちの太陽系と、太陽系外で続々と発見される「系外惑星系」の成り立ちを知る手がかりが得られることとなります。

これからの宇宙探査等に期待して行きましょう。

これからの衛星・探査機の打上に期待

会長 並木道義

令和4年も残すところ後わずかなとなりました。会員のみなさまにおかれましては、どのような年末をお過ごしでしょうか。

本年も会員のみなさまに支えられ様々な活動を行うことができました。ひとかたならぬご支援に深謝申し上げます。来年も様々な活動にチャレンジしてまいります。変わらぬご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

来年も皆様にとってより良い一年になりますように。

そして、この地球という故郷に一日も早く、平和が訪れることを心から祈念いたします。

【事務局一同】

